



上原喜代子 議員

長寿県復活 食の応援事業を問う

答 カレンダーの活用、ランチョンマットの作成を検討する

問 今年度も長寿県復活・食の応援事業で「はえばるカレンダー」を作成する予定か。

副町長 カレンダーを作成し配布する予定である。

問 カレンダーの世帯配布が1万2000部、事業所配布が1000部と確認した。カレンダーはその月が終わると破棄をする。破棄するにはもつたいない。冊子として保存版にできないか。

副町長 カレンダーは町民に食事の基準量、食品に含まれている脂の量、脂を使わない野菜料理を伝えることを目的としていている。長期的に活用できる保存版を検討する。

問 食の応援事業で学童生活習慣病予防健診及び保健指導事業がある。対象となる5年生に島やさいの栄養素を紹介したランチョンマットを作成することはできないか。島やさいを通して栄養素の高さを

分析し、特別感を出しスーパーフードとして紹介ができないか。

教育長 食育の観点からランチョンマットは非常に効果のある事業でないかと考える。前向きに検討していきたい。

青年海外派遣事業での人材育成を

問 青年海外派遣事業は一括交付金を活用した事業で、平成25年度から平成33年度までの事業計画である。「女性の翼」のように長期的に取り組み、研修生を育てていく必要性を感じるがどうか。

教育長 町の事業としては、平成33年度までとなっている。教育委員会としては、それ以降も続けていきたいと考えている。

問 人選はどのように行っているのか。

教育長 町広報誌で募集案内し、南風原町青年海外派遣研修生選考委員会で審査を行う。5人の委員で構成され、書類審査や個別面接を行っている。

問 研修後の報告会は実施しているか。

教育長 研修終了後には研修報告会を開催し、報告書は年度末までに発刊している。



10月14日に報告会がありました